

第23回「ハートメディア」、第33回「みんなの集い」が開催され、つばめグループからも多くの仲間が参加しました。

第23回 ハートメディア

日時:1月25日(土)
場所:なみきスクエア

「市民講演会」、「ふれあいコンサート♪」、「来場者共同作品ブース」、「ふれあいバザー」、「こころで創る作品展」など盛り沢山の内容でした。

◆「こころで創る作品展」では書道や手芸、写真等ぷらっとのメンバーさんの作品が多く出展されました。

※作品は「ぷらっと」のInstagramやHPでご紹介しています😊

◆心のもった作品の数々に会場は大きな感動に包まれ、大変賑わっていました。

◆「市民講演会～幸せを感じ続ける人生にする方法～」では精神科医 kagshun

(加賀谷 隼輔氏)による講演が行われました(右写真)。日々を幸せに感じられる生き方にシフトする方法についてお話を伺いました。

講演後の質疑応答の場面では、つばめグループから4名もの仲間が堂々と質問(「メンタルを強くする方法」や「コミュニケーション上手になる方法」など)し、会場一体となって積極的に学びを深めました。



作品展



加賀谷先生

ぷらっと

Instagram ホームページ



第33回 みんなの集い

日時:3月15日(土)
場所:中央市民センター

当日はぷらっとのもりたさんが司会進行の大役を務めました。第2部ではぷらっとのメンバーさんやスタッフが参加したDVD(歌唱動画)が上映され会場が明るく包まれました。

◆第1部では「繊細さん」～「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる～をテーマに公認心理士 HSP 専門カウンセラー武田友紀氏による講演会が行われました(右写真)。繊細さをいいものとしてとらえ、自分を肯定して活かすことや幸せを感じるための方法についてお話を伺いました。



武田先生

◆第2部では「みんなの想いをメロディーにのせて」をテーマに DVD の上映がありました。

🌀参加者の感想🌀HSP のことがよくわかった。「繊細さん」に当てはまる場所があった。実践したい。色々な話が聞けた。動画撮影に参加できてよかった。動画が楽しかった。懐かしい人と会えて嬉しかった。みんなが幸せになるためにみんな仲良くしましょう。

司会進行 DVD 上映



利用者さん
募集!

就労継続支援B型事業

安心して過ごせる居場所で、自分のペースで仕事に取り組みたい方をサポートします!

つばめ工房(早良区田村) ☎092-400-3477

ピアつばめ(早良区荒江) ☎092-407-9641

- シフォンケーキやクッキーを作りたい!
- お菓子屋さんで販売員をしてみたい!
- ★お互い協力しながら楽しく過ごせることを大事にしています。お気軽にお問合せ下さい!

- 軽作業や身体を動かす仕事がしたいなあ。
- 昼間の居場所があるといいな。
- 困ったときにサポートしてほしい...
- ★そのような思いがある方はぜひご連絡下さい!

〈社会福祉法人つばめ福祉会〉 <https://www.tsubame-fukuoka.jp>

- | | | | |
|-----------------------|-----------|----------------------------|------------------|
| ● 法人本部事務局 | 〒814-0021 | 福岡市早良区荒江 2-7-6 | Tel.092-400-7110 |
| ● ぷらっと (地域活動支援センターⅠ型) | 〒814-0021 | 福岡市早良区荒江 2-7-6 | Tel.092-400-7132 |
| ● つばめ工房 (就労継続支援事業B型) | 〒814-0175 | 福岡市早良区田村 2-10-3 | Tel.092-400-3477 |
| ● ピアつばめ (就労継続支援事業B型) | 〒814-0021 | 福岡市早良区荒江 2-18-25 | Tel.092-407-9641 |
| ● 西区第1障がい者基幹相談支援センター | 〒819-0002 | 福岡市西区姪の浜 4-22-31 ヌメルスⅢ30号室 | Tel.092-885-5060 |

編集:つばめ福祉会 編集委員会責任者 西村隆之 〒814-0021 福岡市早良区荒江 2-7-6
発行:九州障害者定期刊行物協会 〒812-0068 福岡市東区杜領1-12-4

電話:(092)753-9722
FAX:(092)753-9723
購読料 1部 100円(会費に含む)

QSK
つばめ通信

2025年 春号



社会福祉法人つばめ福祉会

つばめ

～つばめ福祉会設立30年～

皆様のおかげでつばめ福祉会は30周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。これからも支援と共に、地域に寄り添い、さらなる発展を目指して努力してまいります。

●2・3面:つばめ福祉会30年のあゆみ、次の未来へ

～すべてはみんなの笑顔のために～



<https://www.tsubame-fukuoka.jp>

つばめ工房 移転から半年



「九産大」販売会 出店
大盛況でした!!



店頭での1枚🍪

移転から半年が経過し、新たな環境にも慣れてきました。ご支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。

メンバーさんの声

- ◆新しい場所に不安がありましたが、楽しく過ごしています。
- ◆引っ越しが大変でしたが、田村も良いところで良かったです。
- ◆シフォンケーキ作りをはじめました。早く上手に作れるようになりたいです。
- ◆シフォンケーキ作りのコツが少しずつわかってきました。
- ◆型外し(シフォンケーキを型から外すこと)が綺麗にできるようになって嬉しいです。
- ◆最初は接客も緊張しました。お客さんが来てくれる時は嬉しいです。



スタッフの声

- ◆すさ:作業所移転に伴い、今まで納品しかできなかったシフォンケーキ、クッキーの店頭販売ができるようになりました。つばめ商品を買って下さるお客様の笑顔と直接接することができ、全員の作業意欲も上がっています。作業が落ち着いて来たので最近では次の商品開発を目指しています。
- ◆きむら:移転後は新しいお仕事に挑戦されるメンバーさんもいて、新たな一面を発見する機会が多くありました。仕事が日々の活力になっているという方もいらっしゃいます。つばめ工房のメンバーさんとスタッフが丸々となってお店作りをしているという感じです。今後も素敵なお店作り、仕事場作り、居場所作りをしていきたいと思っています。店頭では「押し花作品」や「レジン作品」の販売も開始しました🍪ギフトもご相談下さい😊



「新商品」開発中



OPEN
平日 10:00～15:00
シフォンケーキやクッキー
はご予約もできます♪



最新の情報は
Instagramを
ご確認ください



TSUBAMECHIFFON

1995年4月 「つばめ工房」 ～発足の時～



福岡市早良区昭代において、小規模作業所「つばめ工房」が発足しました。家族会14名が中心となり、早良保健所の指導のもと立ち上げられました。

当時の関係者・スタッフの声

西村前理事長：家族会がお金を出し合い、又、地域の方々からの寄付を募ったりして共同作業所を立ち上げ、家族会一人一人がボランティアスタッフとして勤務しながら、仲間達を支える苦難の時代でした。

もりの：障がいのことや制度を理解するために勉強会や講座に良く通っていました。

さいとう：最初の頃は障がいの事などよくわかりませんでした。支援という前に、人対人で一緒に生活を送っていました。でも人間味があって楽しかったです。メンバーさんの工賃を上げるため家族やスタッフも必死で仕事探など行っていました。

きしら：さいとうさん(スタッフ)の後ろ姿が私にとっての手本でした。

当時のメンバーさんの声 ～SWALLOW 第1号より～

作業所通いが始まり、作業所の大変さと薬の服用の大切さがわかった。
何とか病気を克服して社会復帰できるよう頑張りたい。

つばめ福祉会 30年の歩み

～地域と共に歩んだ30年 未来へつなぐ30年～

2001年9月 「つばめ工房 干隈」 ～開設の時～

2000年4月利用者増大のため、「原」に移転し、2001年5月より「つばめ工房原作業所」の分室として「干隈作業所」を運営しました。

同年9月、メンバーさんや関係者の方々の要望もあり、「つばめ工房 干隈」を開設しました。

当時のスタッフの声

きしら・もりの：当時から、帳合や花たわし、軽作業をしていました。

今との違いは、よくバザーに行っていたことです。家族会から作品提供のご協力があり、売上も大きかったですね。ボランティアさんや地域の方にも様々な面で応援していただき、今のお仕事にもつながっています。荒江への移転を機に、少し縁遠くなったことが寂しいですね。またこの地域で、ご縁ができたらいいなと思っています。

さいとう：姉妹(原・干隈)事業所のようにしてやってきたので分かれて寂しさみたいなものがありました。

当時のメンバーさんの声 ～ピアつばめSさんより～

別の作業所を辞めた後、家族の勧めで次を探していました。いくつか見学して、当時のスタッフに話を聞き、干隈作業所の利用を決めました。干隈時代から帳合をしていました。今は違いよくバザーに行っていました。

つばめ工房 干隈



2005年7月 「10周年」 ～記念行事の時～

10周年記念行事を大原公民館にて開催しました。

当時の様子～10周年記念DVDより～

メンバーさんが様々な形でご自身を表現されていました。「新たなスタートのはじまり～」と前理事長より挨拶がありました。

「原作業所」は「小規模授産施設」として運営を開始しました。

当時のスタッフの声

さいとう：メンバーさんたち自らが自分たちの工賃から設立資金を出すなど1人1人が頑張っていました。

福岡市中央区舞鶴にある「あいえふビル」1階に「喫茶・レストラン オアシス」として小規模作業所を開設しました。

2024年3月に「オアシス」は閉所いたしました。ありがとうございました

2005年12月 「オアシス」 ～開設の時～

2008年12月 「ぷらっと」 ～開設の時～

地域活動支援センターI型「ぷらっと」が「荒江」に開設しました。

当時のスタッフの声

さいとう：高齢の方や状態が重たくて働くことが困難な方たちの居場所を何としても

作りたかったです。設立前にメンバーさん向けと地域住民向けに準備説明会を何度か行い、物件探しなど十数件廻りました。



2013年4月 「ピアつばめ」 ～新たな始まり～

「つばめ工房干隈」は「就労支援B型事業所」へ移行しました。同時に「早良区荒江」に移転し、「ピアつばめ」に名称変更しました。



2015年9月 「20周年」

20周年の節目を祝し、地域の皆様と共に楽しむ「20周年記念 つばめ祭り」を開催しました。

当時の様子～インタビュー・写真より～

地域の方も来られ、よく賑わい、皆さん楽しまれていました。つばめ福祉会のことをより知ってもらえる良い機会でした。

当時のスタッフの声

つるた：イベント時は利用者さんの日頃とはまた違った一面も見られるのが良かったです。

たかせ：いつもと違って…アドレナリンが出ていたなあと思いました(笑)またこういうイベントをみんなで作っていききたいですね!



2025年 「30周年」

～次の30年へ、未来に向けて～

理事長 西村隆之

次の30年に向けて、今後もサービスの質の向上と、持続可能な運営体制を確立し、スタッフが力を発揮できる働きやすい環境を作っていきます。

働きやすさがサービスの向上に繋がると確信し、利用者に寄り添い、心温まる支援を目指し、職員の研修強化や地域連携の強化を進めていきます。どうぞ温かく見守って下さい。

～30周年を機に、各事業所スタッフの想い～

法人の歴史を知る機会となりました。「地域の居場所作り」から始めた経緯を知り、ピアつばめが大事にする「メンバーさんの居場所」に通じるものを感じました。根底にある思いを大切に、日々支援を続けたいと思います。(ピアつばめ こうや)

ここ数年は「つどい(お話し会)」や「機関紙活動」に力を入れてきましたが、今後はさらに、医療をはじめとする関係機関や地域住民の皆様と協力して「地域交流」を充実させ、『お互い様の共生社会』を実現したいです。(ぷらっと もりた)

利用者さんやご家族に寄り添いながら、やりがいや生きがいのある職場や居場所づくりを行いたいです。また皆さんにとって安心できる支援者になれるよう支援のスキルを磨き、自分自身も成長できるよう努めたいです。(ぷらっと しのはら)

昔を知るメンバーさんやスタッフに当時の話を聞きました。皆さん懐かしそうに、そしていい笑顔で話していて、温かい気持ちになりました。私も今年勤続10年目！つばめらしさを大切に、メンバーさんの隣で笑い合いながら一緒に頑張りたいと思います!!(つばめ工房 おおまち)